

# 京都産業大学探検部山班

## 第一次雪山合宿



2002年2月21日～23日

【金糞峠～武奈ヶ岳～わさび峠】

## 【合宿の概要】

期間：平成14年2月21日～23日

場所：滋賀県滋賀郡志賀町 武奈ヶ岳

公費：700円（内訳：21日夕食費、22日朝食・昼食・夕食費、23日朝食費、団体非常食費）

### 参加者

CL・会計・食料	古塚 孝太	4回生	A型
SL	塩谷 時和	4回生	O型
装備・救急	小川 祐史	1回生	A型
記録	里見 真季子	1回生	O型

食料計画：21日 昼食（各自持参） 夕食（寄せ鍋、ご飯）

22日 朝食（パン、紅茶、ウインナ） 昼食（行動食、ソーセージ、紅茶）  
夕食（ラーメン、ご飯）

23日 朝食（パン、紅茶）

団体装備；テント（ダンロップ）、コッヘル、ヘッド（2）、ガス缶（3）、ランタン（1）、救急セット、キッチンセット、断熱マット、ツェルト、スコップ（1）、麻紐、アイゼン（4）、団体非常食（ラーメン4人分）

個人装備；

シュラフ、シュラフカバー、ザックカバー、断熱マット、雨具上下、スパッツ、ポリタン、スキー用ゴーグル、スキー用帽子、スキー用手袋、軍手、ヘッドランプ、替え電池、替え電球、メタ、細引、シルバーコンパス、タオル、ナイフ、防寒具、学生証、地図、着替え、米2合、保険証コピー、非常食、ベッセル、計画書、トレペ、靴袋

### 緊急連絡先

在京連絡人：佐藤 茂（法学部2回生）

探検部顧問：横山茂樹

### 現地緊急連絡先

堅田警察署 077-573-1234

大津市北消防署志賀分署 077-592-0119

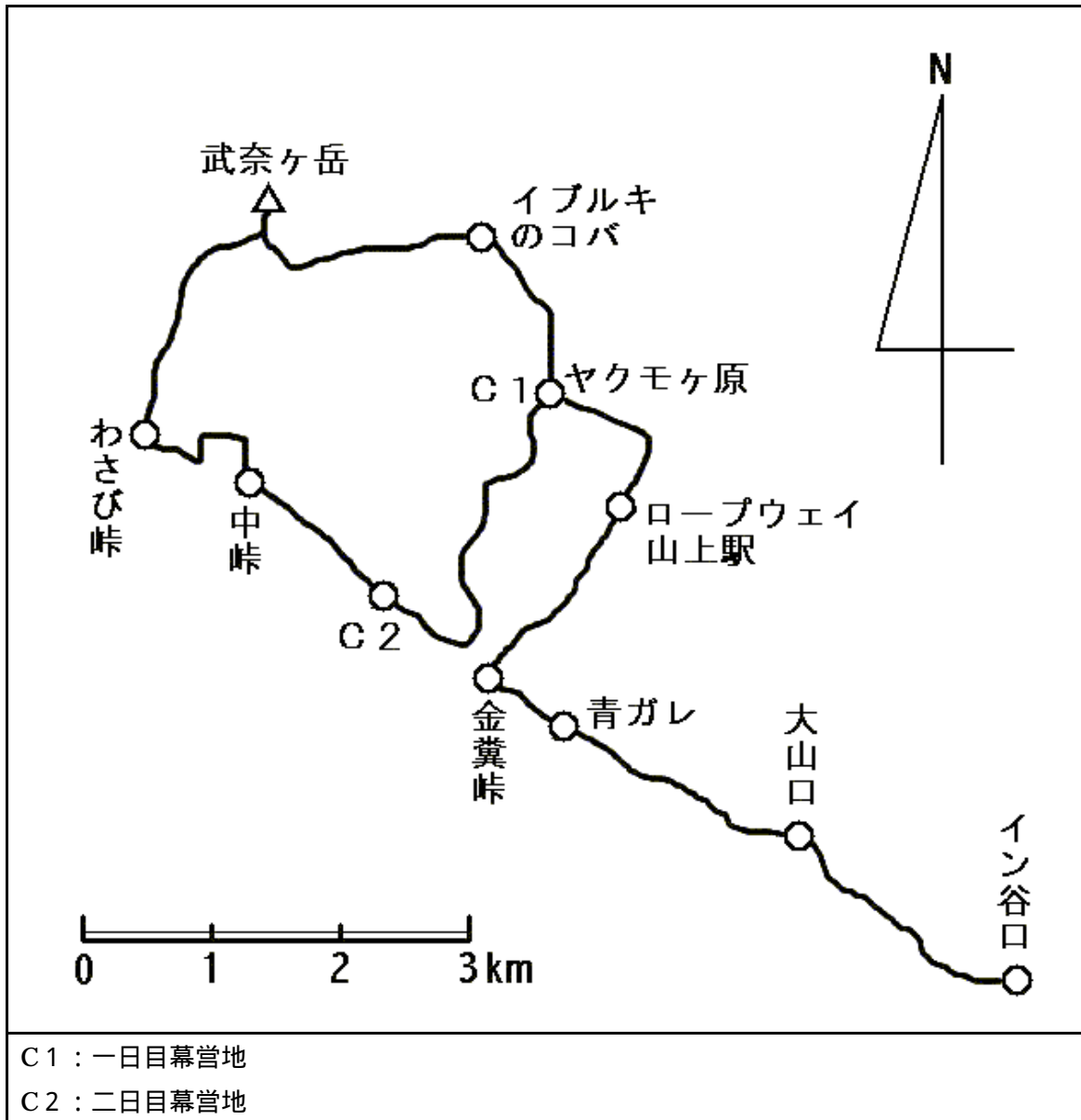
国立診療所比良医院 075-594-1122

比良ロッジ 077-596-1068

### 【行動記録】

<p>21日</p>	<p>9:00 JR 京都駅集合            9:30 出発            10:30 JR 比良駅着            11:00 イン谷口着                  昼食            12:00 山行開始            15:00 青ガレ着            16:40 金糞峠着            17:30 ロープウェイ山上駅着            18:30 ヤクモヶ原着                  設営            19:15 夕食            23:00 消灯</p>	<p>集合時にアイゼンのサイズ合わせを行ったので30分程出発が遅れる。山行中は晴天で気温が高く、半袖で歩いた。雪質は最悪でアイゼンに雪が纏わりつく。            歩行ペースはなるべく汗をかかない程度に抑え、青ガレの上部では半時間ほど小休止した。            山上駅付近にある比良ロッジでビール等を飲む。            のんびりし過ぎたせいで、ヤクモヶ原到着が日没後になってしまった。</p>
<p>22日</p>	<p>7:15 起床            7:40 朝食後徹営            9:40 山行開始            11:20 昼食            12:55 武奈ヶ岳着            13:53 わさび峠着            15:15 中峠着            16:20 幕営地到着            16:40 設営            18:30 夕食            22:00 就寝</p>	<p>イブルキのコバを過ぎた辺りからガスが出始めたため、頂上での昼食を諦め、稜線沿いの林間にて昼食。            頂上は予想通りガスで視界が悪く風が強かった。            わさび峠から中峠までのルートは、今回の山行中で最も雪質が悪く、足元を取られることが頻繁にあった。そのため予定よりもはるかに時間がかかった。ヤクモヶ原まで戻る予定だったが到着が日没になる危険があったため急遽幕営地を変更した。</p>
<p>23日</p>	<p>7:30 起床            7:45 朝食後徹営            9:20 山行開始            10:20 ヤクモヶ原到着            10:55 ロープウェイ山上駅着            11:50 JR 比良駅着            12:30 JR 京都駅着                  昼食            14:40 京都産業大学着 片付け            17:30 解散</p>	<p>幕営地から、金糞峠とヤクモヶ原の分岐点までは20分程で到着。そこからは予想以上に早くヤクモヶ原に到達することができた。            土曜日という事もあり、中年ハイカーのグループが多々見受けられた。ゲレンデは子供が多く、歩行時には注意が必要。            京都駅では、階段駆け上がり大会が催されており、昼食に手間取った。</p>

【ルート図】



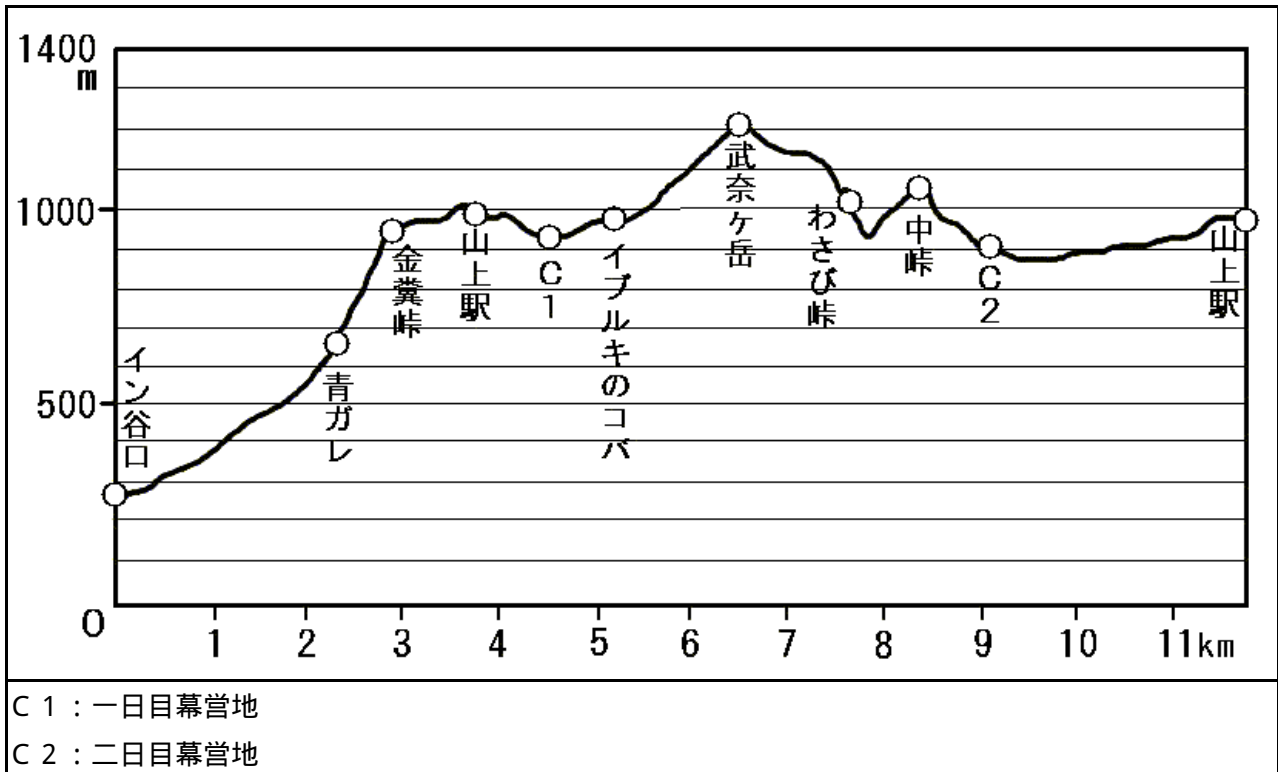
21日：イン谷口 30分 大山口 190分 金糞峠 90分 ヤクモヶ原

22日：ヤクモヶ原 160分 武奈ヶ岳 60分 ワサビ峠 60分 中峠 65分  
幕营地

23日：幕营地 55分 ヤクモヶ原 35分 山上駅

\* 上記のコースタイムは休憩時間を除外している。

## 【概念図とコースの解説】



### 【青ガレ～金糞峠】

青ガレの下部は岩肌が露出しておりアイゼンを装着したままでは歩行が困難だった。中盤以降からは次第に積雪量が多くなり傾斜もきつくなるので、アイゼンを装着することが望ましい。

青ガレを登りきった所からは琵琶湖を一望することができる。

金糞峠直前の登りは傾斜が一気にきつくなる。

### 【ヤクモヶ原～武奈ヶ岳】

比良山系では最もメジャーなルート。頂上付近以外は特に傾斜がきつい箇所もないので、快適に歩行する事ができる。

### 【わさび峠～中峠】

ヤクモヶ原・武奈ヶ岳間のルートに比べ歩行者数が格段に少ない。わさび峠から続く谷間のルートは、雪の下に川が流れているため、突然足元の雪が崩れて歩行が困難になる場合が多々ある。

口ノ深谷から中峠までのルートはかなり傾斜がきつく、歩行者が少ないため新雪に足を取られる。

### 【中峠～ヤクモヶ原】

中峠から一気に谷間を下る。中盤以降は延々と同じような風景が続くので、距離感を掴むのが困難。途中、何度か渡河しなければならないので、アイゼンが邪魔に感じる時もあった。

## 【CLの反省】



全般的に、自分の技術と経験の無さを痛感した。天候と雪質でここまで歩行時間が変わるとは想像していなかった。これは計画段階での不備だけではなく、経験の欠如から来る対応力の無さが原因だと思う。少しでも、今回のこの経験を次回に繋げていきたい。

また、到着予定時間をはるかにオーバーしたため一回生に雪山技術を教えることができなかった。本来なら幕営地到着後に弱層テストやビバーク方法を実演しながら教える予定だったが、まったく教える

事ができなかったのが悔やまれる。食料計画においては、もっとカロリーの多いものを摂取する必要があると感じた。

## 【会計報告】

食料代	21日夕食	2850円
	22日朝食・昼食・夕食	(一人700円)
	23日朝食	
	個人行動食(あめ・キャラメル)	
	団体非常食(ラーメン)	
交通費	JR(京都~比良)往復	1300円
	バス(比良~イン谷口)	310円
	バス(リフト前~比良)	340円
リフト代	山上駅~リフト前	1100円

一人当りの合計金額 3750円

## 【JR 比良駅発のバス時刻表】

7	47	13	28
8	24 47	14	28
9	47	15	28
10	28	16	28
11	14	17	20
12	28		

## 【感想文】

1回生 小川 祐史

今回の合宿では雪山の知識について得た物は多かったんですが何か大切な物を無くした気がします。

1回生 里見 真季子

今回の合宿はかなりハードでした。一日目は先頭を歩かしてもらったのですが、足跡があったので私でも道がわかりました。キャンプ場に着いた後での断熱マット滑りは最高でした。新たな滑り方を発見できました。二日目での一番厳しかったのは中峠に着くまでの坂でした。進んでいる気があんまりしませんでした。でもこの後の晩ご飯が格別においしかったです。重い荷物を持って歩いてくれた皆さんご苦労様です。

4回生 塩谷 時和

穴とアイゼンはゆるめるべからず。

4回生 古塚 孝太

断熱マットに乗かってグレンデを疾走した。・・・こんな経験めったにできねえよ。

## 【アンケート】

参加した部員に「この合宿で一番良かった点と一番悪かった点は？」と聞いてみました。

良かった点	ALL OF MEMORIES 一日目にわざわざ自分のために開いてくれたミーティング キャンプ場に着く前の景色
悪かった点	合宿がうまく行って反省点がないこと 上に同じ...自分の中であれはよかったのか悪かったのかよく分かりません 中峠に登るまでの坂